



インターン活動で  
得られたこと

2009年度インターン生  
神林満男さん

学生時代は、特に地球温暖化や環境汚染などの環境問題に関心があり、大学に通いながら自分で何かできることを探していました。

そんな中、環境インターンの募集があることを知り、ストップ温暖化センターみやぎでインターンをさせていただくことになりました。

開始当初は学生気分が抜けきらず、楽しみながら社会に貢献できればいいな、という程度で考えていました。このインターン活動を通じて、センターが行う一般市民向けの研修会に参加するなかで、地球温暖化等についてより深い知識

を得ることはできましたが、なにより大きかったことは、社会人として求められるビジネスマナーや働き方を教わることができたことです。トレーナーの方からのご指導は時に厳しいところもありましたが、同期のインターン生の小山田陽奈さんと相談したり、当時ストップ温暖化センターみやぎ統括であった井上郡康さんはじめ、MELONの皆さんに優しく声をかけてもらえたことで、たくましく成長できました。

また、インターンの後半には、あるイベントのブース出展を企画から運営まで任せていただきましたが、自分で考えて行動することの難しさを感じつつ、大きなやりがいと達成感を得ることができ、私の大切な経験となっています。

最後になりますが、ストップ温暖化センターみやぎの20周年を心からご祝い申し上げるとともに、今後ともインターン生の育成等により地域社会へますます貢献されますことをご祈念いたします。



COP25報告会in 仙台

2019年度インターン生  
平澤拓海さん

コロナ渦が私たちの生活を大きく変化させる直前、私はCOP25に参加し、報告会を仙台で行いました。

気候変動というグローバルで最重要な課題を前にして、世界の流れを知り、その想いを仙台で広げていくことは、自分にできる大きな役割のように感じていました。

幸いにして私はClimate Youth Japanという団体に所属し、国内外の情報や仲間を集めながらも、MELONでインターンをし、実行をする手立ては整っていました。

実際に派遣に参加する中では、開催地の変更や、宿のトラブルなどに見舞われながら、使命を全うするために必死に行動しました。結果として、小泉大臣に若者の声を届け、私たちの声を世界に発信することができ、自分自身の大きな経験となるとともに、一定の結果を生むことができたと思います。

さらに重要視していたのは、仙台の報告会でした。特に都心と比べ仙台では、若い人からの声が小さいということを懸念していました。なるべく多くの人に参加してもらえるように、環境系の団体のブースを設け、私自身も楽しくお話をすることを心がけていました。当日は多くの方にご参加いただき、この場をお借りしてお礼申し上げます。

持続可能な社会を作り上げるために、みなさまと一緒に努力して参りたいと思います。

※「CSOラーニング制度」とは…SOMPO環境財団が「木を植える人を育てたい」という想いから、社会で活躍する人材を育成するために2000年度より始めた制度です。大学生・大学院生が、環境問題に取り組むCSO（市民社会組織、NPO・NGOを包含する概念）で8ヶ月間のインターンシップの経験を通して、環境問題や市民社会のあり方などについて考え、より視野の広い社会人になることを目指しています。またCSOにとって、マンパワー支援の一助となることを目的としています。